

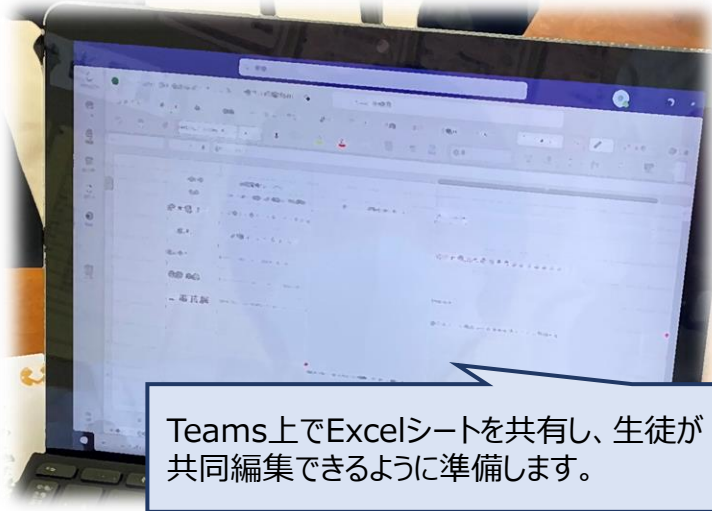
リーディングDXスクール事業【実践事例】

渋谷区立笹塚中学校

【取組内容②】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用」

Excelシートをクラウド上で共有し、思考のプロセスや変容を共有し学びを深める活動

「最初に考えたこと」、「友達の意見を聞いて考えたこと」「より良くなった考え」等の欄を設定します。授業の終盤で、友達の意見を聞いて変容したり深めたりした考えを入力します。



Teams上でExcelシートを共有し、生徒が共同編集できるように準備します。

25	[Redacted]	転倒立は、回ったときに頭が前に出ていなかったり体と足がずれちゃったりしてしまったので一直線になるように意識する。
26	[Redacted]	倒立で足を上に上げることは出来たけど、足が戻ってしまってまだ倒立から前転が出来ないから、倒立の勢いも使って倒立から前転に行けるようにしたい。
27	[Redacted]	倒立前転をすることができたが、倒立の状態で止まることができなかったため、徐々に足をあげてベストのところを見つけられるようにしたい。



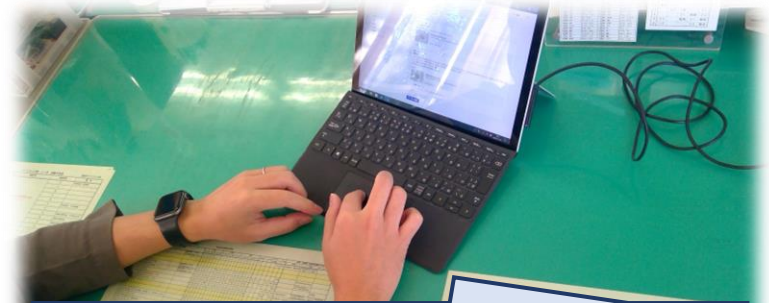
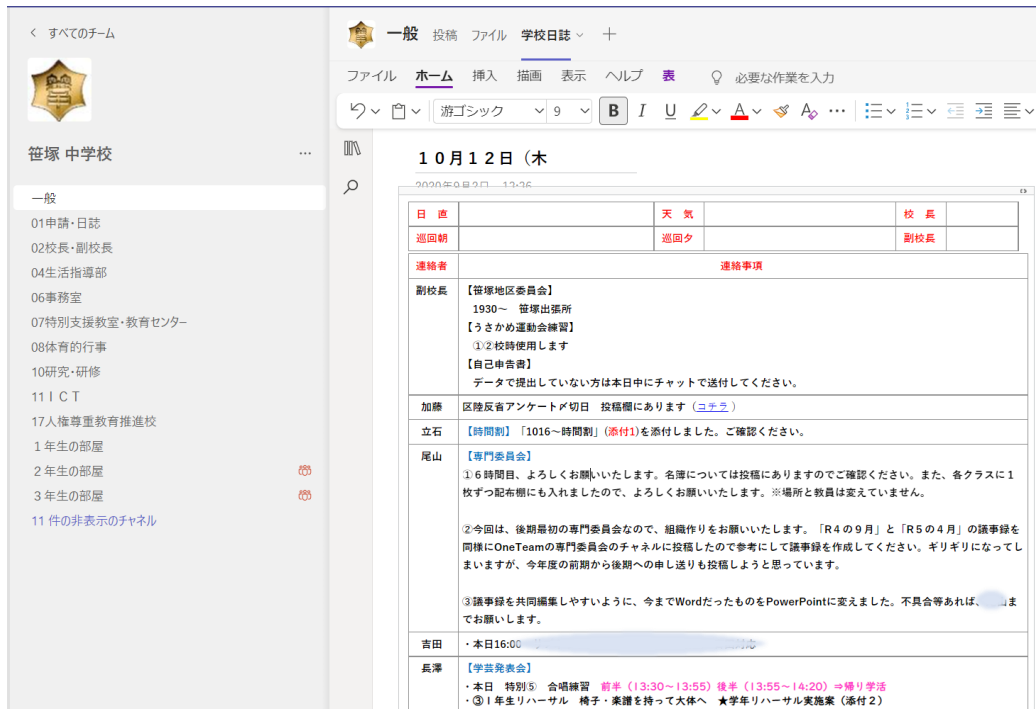
お互いの良い所みつけ等の活動と組み合わせることで今まで気付かなかった友達の良さを発見したり、友達の考えの変容に自分が関与していたことが分かることで自己肯定感を高めたりする効果がありました。

教師が指示を出さなくても、自分の考えとの共通点・相違点を探したり、共通するキーワードを見つけたり、複数の意見を統合して最適解を導き出そうとする姿が見られます。



【取組内容④】「校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議のためのクラウド活用」

クラウド活用 (TeamsやOneNote)を通じた校務の効率化、働き方改革



クラウド上で資料を管理・共有することで、ペーパーレス化が徹底されています。それにより職員室の机の上は常にクリアになっており、書類紛失のリスクが低減されました。



日常業務を効率化して捻出された時間を活用し、有識者を招いた校内研修を実施しています。「クラウド活用による協働的な学び」等をテーマにした講義・演習だけでなく、授業観察をした上で直接指導・助言をいただき、教員の資質向上の機会となりました。

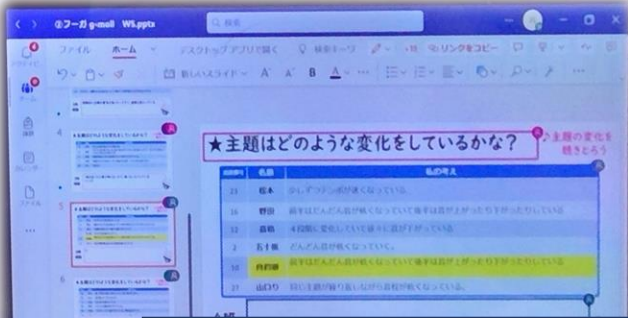
職員会議や打ち合わせの議題は、教職員チーム上のOneNoteで整理されています。予め提案内容を記載したり資料を添付したりすることにより、会議時間の短縮はもちろんのこと、出張等で欠席した教員もすぐに情報を得ることができるようになりました。その結果、教員が生徒と向き合う時間、教材準備をする時間をより多く確保できるようになり、働き方改革に繋がりました。

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

渋谷区立笹塚中学校

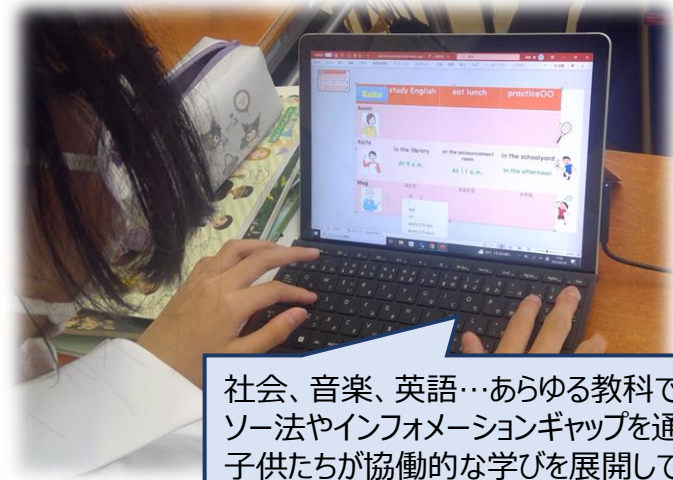
## 【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用」

**PowerPointやExcelをクラウド上で共有し、ジグソー学習の手法を通して協働的に学ぶ活動**

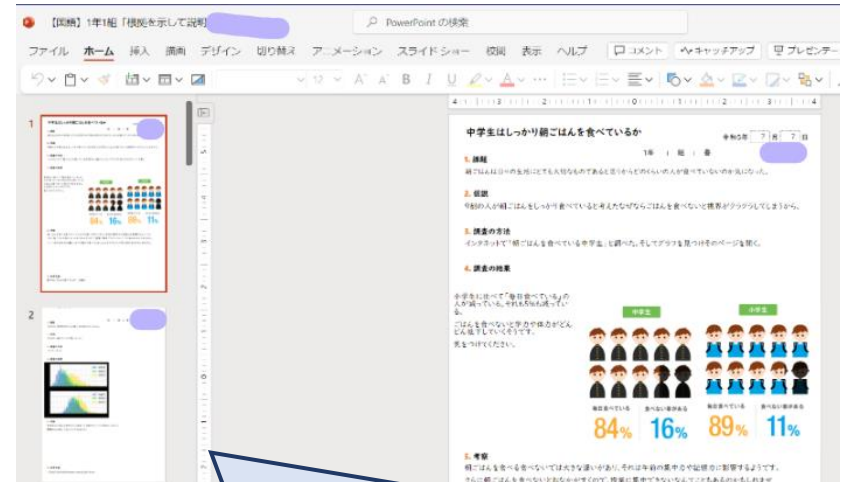


Teams上でPowerPointやExcelファイルを共有し、分担してページやシートに調べたことや考察したことを入力していきます。

異なる資料を読んだ生徒同士がグループを作り、得た知識をアウトプットします。そして、それぞれの考えを組み合わせ、問いに対する最適解を導き出します。



社会、音楽、英語…あらゆる教科で、ジグソー法やインフォメーションギャップを通して、子供たちが協働的な学びを展開しています。



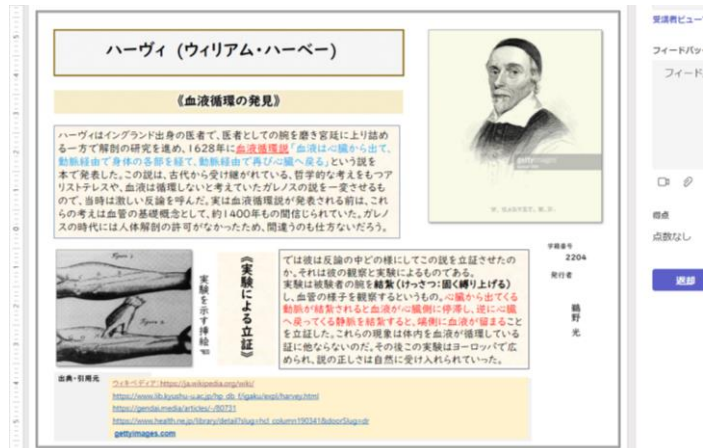
クラウドを活用することで、生徒同士でリアルタイムに情報共有をすることができ、ディスカッションしたり新たな考えを創造したりする活動により多くの時間を捻出することができます。

【取組内容③】「Teamsにおける課題配信等による個別最適な学び、家庭学習の充実」

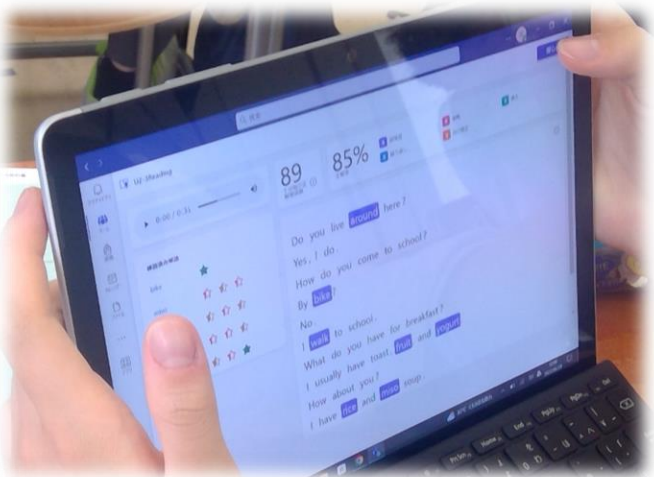
Teamsで課題配信を行い、個別最適化された家庭学習に取り組む活動



Teamsの「課題」機能を活用し、家庭学習の課題や教科ごとの連絡事項等を配信しています。締切日の設定、生徒へのアラート、提出・未提出の確認、生徒に対するフィードバックの送信等を一元化して行うことができ、業務の効率化にも寄与しています。



配信されたPowerPointのフォーマットを基に、生徒が理科のレポートを作成します。課題配信は個別のやり取りなので、他の生徒が誤って削除したり編集したりすることはありません。生徒は教師のフィードバックを受けて、よりよく課題に取り組むようになりました。



音読の課題（Reading Progress）を活用し、生徒が家庭でスピーキングの練習をできるようにしています。読みませたテキストを音読すると、AIが発音を採点し自動的にフィードバックが送られるので、生徒の意欲が高まります。また、授業中に活用して話すことの評価に反映させることもできます。

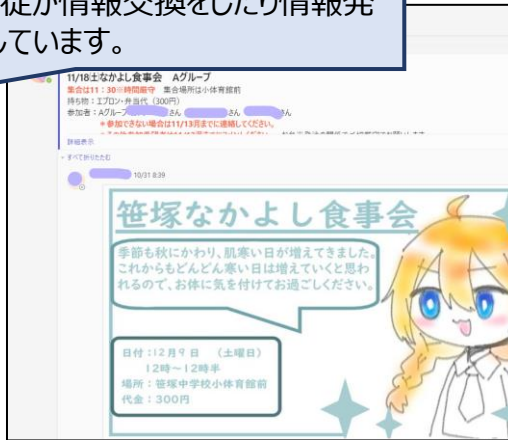
# リーディングDXスクール事業【実践事例】

渋谷区立笹塚中学校

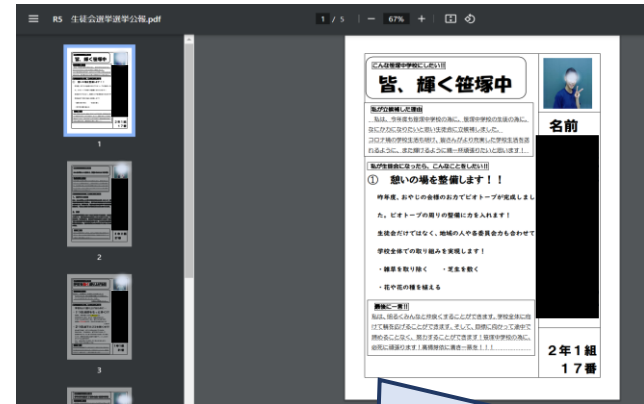
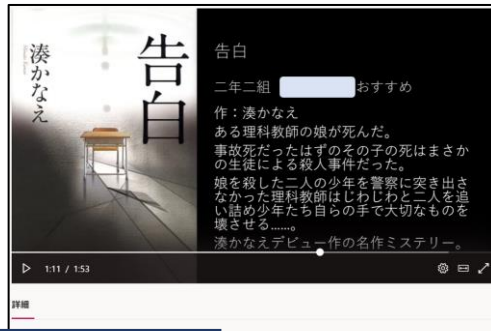
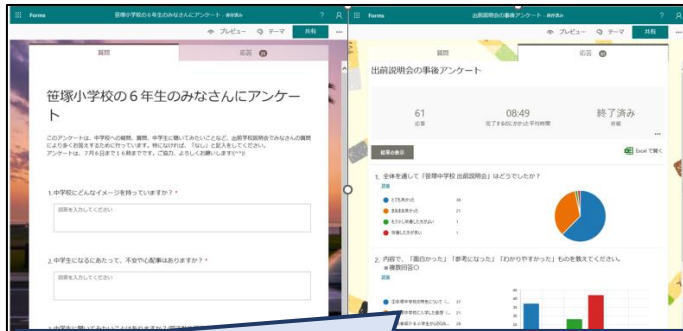
## 【取組内容⑤】「生徒自らがクラウドを活用し、主体的に取り組む特別活動」

### 生徒が主体的にツールを選択し、生徒会活動や委員会活動に取り組む活動

委員会や部活動ごとにチームやチャンネルを設定し、生徒が情報交換をしたり情報発信をしたりしています。



図書委員会では、おすすめの本の紹介動画を作成し、校内Stream上にアップしたり、図書コーナーのモニターで表示したり、読書への啓蒙活動を行いました。



生徒会選挙では、クラウド上で選挙公報のPDFファイルを共有しています。また、Teamsで選挙演説を配信し、いつでもどこでも閲覧できるようにしました。

生徒は、Forms、Stream、PowerPoint等多様なツールを目的に応じて選択し、主体的に活動に取り組んでいます。